

2021 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 柔道整復スポーツ学科 | | 科 目 区 分 | 専門基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
|--|--------------|-----------------|-------------------------|----------------------|-----------------------|---------------|
| 科 目 名 | 高齢者の生理的特徴と変化 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 15 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 3年生 | | 学期及び曜時間 | 前期 | 教室名 | 第2校舎303 |
| 担 当 教 員 | 井上 海平 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 柔道整復師が業を行う施術所やディサービスを含む介護施設に多い、高齢者の生理学的な特徴と変化を理解し、より効果的な施術が行えるようにすることが目的です。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 期末試験評価:100% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 生理学改訂第4版(全国柔道整復学校協会編集) | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 使用教材に指定している教科書「生理学 第4版(全国柔道整復学校協会編集)」を基に該当範囲の予習と復習を行うこと。適宜必要に応じて、図書館の書籍やJSTAGEなどで知識を深めることも必要である。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| カリキュラム改訂により新設された科目で、より臨床に近い内容を求められる科目となります。試験的な目的よりも自身の将来像を意識して履修してください。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 細胞の働きと加齢現象について理解する。 | 生理学第4版(全国柔道整復学校協会編集) | 基礎的な細胞についての知識を確認する。 | |
| | 講義形式 | 各コマにおける授業予定 | 細胞のエイジング | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 体内水分量の変化と変化が与える影響を理解する。 | 生理学第4版(全国柔道整復学校協会編集) | ヒトの体内組成を確認する。 | |
| | 講義形式 | 各コマにおける授業予定 | 高齢者の体内水分量の変化 | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 加齢による器官の変化を理解する① | 生理学第4版(全国柔道整復学校協会編集) | 神経系と運動器の仕組みを確認する。 | |
| | 講義形式 | 各コマにおける授業予定 | 神経系・運動器系の加齢変化 | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 加齢による器官の変化を理解する② | 生理学第4版(全国柔道整復学校協会編集) | 感覚器と皮膚の構造を理解する。 | |
| | 講義形式 | 各コマにおける授業予定 | 感覚器系と皮膚の加齢変化 | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 加齢による器官の変化を理解する③ | 生理学第4版(全国柔道整復学校協会編集) | 循環器と呼吸器の構造と働きを理解する。 | |
| | 講義形式 | 各コマにおける授業予定 | 循環器系・呼吸器系の加齢変化 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|--------------------|----------------------|--------------------|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 加齢による器官の変化を理解する④ | 生理学第4版(全国柔道整復学校協会編集) | 消化器系の構造と働きを理解する。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 消化器系の加齢変化 | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 高齢者に多い疾患と障害を理解する | 生理学第4版(全国柔道整復学校協会編集) | 高齢者の特徴を理解し病態を確認する。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 高齢者に多い疾患と疾患 | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 高齢者の運動と加齢について理解する。 | 生理学第4版(全国柔道整復学校協会編集) | 高齢者の運動機能についてを確認する。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 高齢者の歩行機能と平衡機能 | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |